

令和8年度 福島県立医科大学大学院看護学研究科（博士前期課程）

〔 秋期選抜試験 〕 成人看護学領域 試験問題

出題意図及び解答例

I

問 1

出題の意図：看護の対象となる人を生活者として捉え、その人や家族の発達課題・生活過程などの特性を踏まえ、身体・心理・社会的な側面から多角的にアセスメントできているか、また、顕在的および潜在的な看護問題としての考えることができるかを問う。

解答例および解答ポイント：現時点での情報に基づいて考えられる問題および手術侵襲によって術後の想定される問題について解答できることが望ましい。

問 2

出題の意図：成人看護学領域での学習にあたり、必要となる看護学の基礎的な知識(解剖生理や病態、手術侵襲による回復過程や看護援助方法)を問う。

解答例および解答ポイント：提示された情報と手術侵襲から考えられる術後合併症の説明と、観察や予防など具体的な看護援助方法について解答できることが望ましい。

問 3

出題の意図：成人看護学領域で学習する機会のある理論についての知識、看護実践への活用について論理的に説明できることを問う。

解答例および解答ポイント：選択した理論の説明の正確性と本事例への有用性について、それぞれ記述されていることが望ましい。